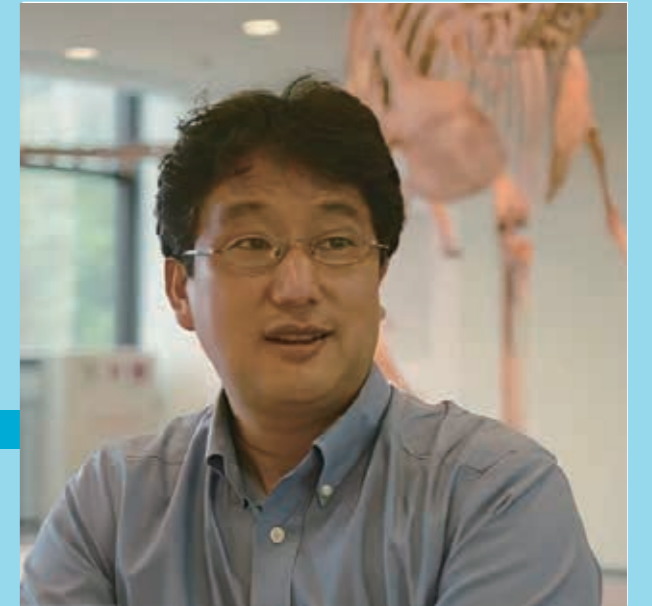


野外で採集した水生生物を保存・輸送するための 密封用の超強力なビニール袋が色々便利です！

自然・環境マネジメント研究部 生態研究グループ 三橋 弘宗



山奥に水生生物の採集や調査のため、何日も調査する場合、ガラスやプラスチック瓶を大量に持ち歩くのは大変です。採集した水生生物は、ホルマリンやアルコールを使って液浸標本として保存するため、瓶を使うと標本が浸かるように液を入れるため重量が増えます。さらに、ガラス瓶だと割れる危険があり、プラスチック瓶だと漏れる恐れがあります。この課題を解決できるのが多層コートされたプラスチック製のチャック式袋になります。こちらの袋は、ラミジップ(生産日本社)という商品で、加工食品の袋などにも利用されています。調査の現場で、魚類や水生昆虫を採集したあと、袋にホルマリンと水を足して空気を抜いて、そのあとジップロックを留めてから、ヒートシーラー(手持ちで乾電池で動作)で上面を熱シールして密封します。



ラミジップを使うことで、調査の際の荷物が減り、熱帯雨林の山の中でも荷物がコンパクトになり、標本も腐ることなく、食品と一緒に運んでも漏れる心配もありません。大変安くて便利でして、簡単に購入できるので重宝しています。プラスチックネーション標本や観察会の簡易水槽にも利用できます。なお余談ですが、この袋は、有名な地下鉄サリン事件の毒薬を入れる容器にも使われていたほど丈夫でして、当時は大学の研究室に警察が訪ねてきて、色々と疑われました。